

【基本施策7】 学習環境と支援体制の充実

施策 2 5 生涯学習情報の提供

方針

市民が自ら適切な学習機会を選択し、学習を進めることができるよう、様々な学習情報を収集し、わかりやすく提供します。

現状と課題

生涯学習を推進していく上では、市民自らが学習意欲を持ち、学習に取り組もうとした時、必要な情報を様々な機会を通して得ることのできる環境を整えることが大切です。講座内容、学習資料、人材などの情報や、いつどこでどのような学習機会があるのかなどの幅広い情報の収集と、それらの情報をいかに市民へわかりやすく提供するかが重要です。

情報化の進展により、現在、多くの市民がパソコンやスマートフォンなど様々な媒体を利用して必要とする情報を自ら得ています。情報化に対応したより効果的な情報収集・情報発信の方法を研究し、体制を整えていく必要があります。

市では、「広報はむら」「はむらの教育」「ゆとろぎイベントガイド」などの広報紙をはじめ、各種ポスターやチラシ、文化・スポーツ団体や市民活動団体の情報を掲載した冊子を発行するとともに、生涯学習センターゆとろぎに団体の活動を紹介できる「市民情報コーナー」を設けるなど、様々な媒体を活用して、市民へ生涯学習に関する情報提供を行っています。また、生涯学習関連施設では「公共施設予約システム」を導入し、インターネットでの施設予約の受付や事業の情報提供を行っているほか、試行的な取り組みとして「東京電子自治体共同運営協議会」^{※1}で運営している電子申請サービスを活用して、講座の申込受付を行っています。

今後も、市民が生涯学習活動を行う上で必要としている情報をいつでもどこでも入手できるようにするため、情報提供の場をより一層充実していくとともに、市民や各種団体が自らの生涯学習活動に関する情報を発信できる環境を整備することが大切です。

※1 東京電子自治体共同運営協議会：東京都内の地方公共団体が共同して電子自治体を実現することにより、住民に対する行政サービスの向上並びに行政運営の高度化及び効率化を図ることを目的とした協議会。

今後の方向性

◆ 生涯学習情報・団体情報の収集・提供の充実

市内の文化・スポーツ団体や市民活動団体、地域人材の活動情報を収集し、その情報を市民に提供することで、市民への学習機会のきっかけとするとともに、各種団体の日頃の活動のPRや地域人材の活性化を図ります。

また、市の職員等が日ごろ行っている仕事や事業、制度などを地域に出向いて説明する講座を実施し、市民に対して行政の施策や事業に関する理解を深め、まちづくりに参画するきっかけづくりとなるよう取り組みます。

[主な計画事業]

- 1 団体等の活動情報の収集・提供
- 2 人材バンク登録制度の活用
- 3 団体等の情報発信支援
- 4 生涯学習まちづくり出前講座の活用促進

◆ 様々な媒体による情報発信の充実

様々な媒体を活用し、情報発信の充実を図ります。

[主な計画事業]

- 5 広報活動の充実
- 6 生涯学習センターゆとろぎで実施する事業等の情報提供
- 7 Wi-Fi 環境の整備
- 8 インターネットによる情報発信の充実

主な計画事業

1 団体等の活動情報の収集・提供

市民の学習のきっかけとすることや、各種団体の活発な活動への支援を図るため、文化・スポーツ団体、市民活動団体等の情報をまとめたガイドブック「団体・サークルガイド」「市民活動団体・ボランティア団体等ガイド」や「市民活動情報紙きずな」を発行します。

2 人材バンク登録制度の活用

何かを学びたい市民と地域人材をつなぐきっかけとなるよう、様々な分野において知識や技能の提供ができる市民の情報を収集し、その人材を地域や市民の生涯学習活動の場で活用できるよう充実を図ります。

3 団体等の情報発信支援

市内の文化・スポーツ団体や市民活動団体、地域人材が、活動情報等を自主的・自発的かつタイムリーに発信できるよう、インターネットの掲示板などを活用した情報発信の仕組みについて検討し、支援していきます。

4 生涯学習まちづくり出前講座の活用促進

市の職員等が地域に出向いて、子育てや福祉、環境のほか、行財政、選挙制度といった、市や官公署の様々な施策についてわかりやすく伝える「生涯学習まちづくり出前講座」を、町内会・自治会をはじめとした各種団体や学校、市民に対して講座の開催を積極的に働きかけるなど、活用の推進を図ります。

5 広報活動の充実

広報紙や教育委員会掲示板、市公式サイトのほか、テレビはむらを通じて映像による情報発信を行います。また、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を活用し、即時性を有した情報発信を充実していきます。

6 生涯学習センターゆとろぎで実施する事業等の情報提供

生涯学習センターゆとろぎでの教育委員会主催事業、市民が実施する発表会などのイベント情報を、「ゆとろぎイベントガイド」として発刊し、市内各所や近隣市にも配布するほかホームページでも周知し、幅広く情報提供していきます。

7 Wi-Fi 環境の整備

市民が生涯学習情報を含めた様々な市政情報を取得できるよう、市内各所に無料でインターネットへ接続できる Wi-Fi 環境を整備します。

8 インターネットによる情報発信の充実

公共施設予約システムの中に組み込まれている生涯学習関連施設独自のホームページの運用を図り、充実させます。また、学習情報、コンサート・講座などの情報提供や参加募集にインターネットをより一層活用していくほか、民間が運営する情報発信サイト等を活用するなど、インターネットによる情報発信の充実を図ります。

計画事業の対象とするライフステージ						
主な計画事業	ライフステージ					
	乳幼児期	少年期	青年前期	青年後期	壮年期	高齢期
1 団体等の活動情報の収集・提供		○	○	○	○	○
2 人材バンク登録制度の活用			○	○	○	○
3 団体等の情報発信支援		○	○	○	○	○
4 生涯学習まちづくり出前講座の活用促進			○	○	○	○
5 広報活動の充実		○	○	○	○	○
6 生涯学習センターゆとろぎで実施する事業等の情報提供		○	○	○	○	○
7 Wi-Fi 環境の整備		○	○	○	○	○
8 インターネットによる情報発信の充実		○	○	○	○	○

※対象とするライフステージとは、各計画事業に該当する主な年代とします。

施策 26 学習活動をつなぐしくみづくり

方針

市民のニーズを学習活動につなげ、学習する人や団体等が互いにつながり学習活動が活発に行われるよう、支援します。

現状と課題

人と人との関わりの中で、ふれあいやつながりが生まれ、豊かな人間性や活力ある地域コミュニティが育まれます。さらに、市民や団体等が互いに連携・協力し、学び支え合う中で、様々な知識や技能が共有され、継承されていきます。

市内では、市民が個人として、また、文化・スポーツ団体や市民活動団体等の一員として、様々な学習機会を通して自主的・自発的に活動しています。そういった中、生涯学習の推進を図る上で、その一翼を担っている市内の各種団体は、多様化する市民の学習ニーズや少子高齢化などが原因により、構成員の減少や会員の高齢化といった課題を抱えています。

市では、市内で活動する各種団体を支援するため、活動情報をまとめた冊子等を活用した市民へのPRを行うとともに、活動成果の発表の場の提供や、活動するにあたっての財政的な支援なども行っています。

これからも、生涯学習の推進に向けて、市内の各種団体がより充実した活動の展開を図るためには、団体活動のPRや市民・団体等の学びの成果を発表する機会や場の確保が求められます。また、市と市民、団体と団体等が連携・協力できるような体制を構築することが大切です。

さらに、市民の多様なニーズを学習活動に結びつけるとともに、市民や各種団体の学習活動が円滑、活発に行われるよう、生涯学習相談体制、コーディネーター機能の充実が求められています。生涯学習コーディネーターを養成するなど、市民一人ひとりの学習ニーズに適切に応じることのできる人材ときめ細かな体制の整備が大切です。

今後の方向性

◆ 羽村市文化協会や羽村市体育協会、社会教育関係団体への支援

市の芸術文化及びスポーツ活動の発展の一翼を担っている各種団体などの活動を支援します。より多くの団体が活動を通じた学習の機会や成果発表の機会を増やせるよう、社会教育関係団体としての登録支援を行うなど、各種団体の振興発展を支援します。また、各種団体が日頃の成果を広く市民に対して継承する取組みを支援します。

[主な計画事業]

- 1 羽村市文化協会、羽村市体育協会の活動支援
- 2 社会教育関係団体の活動支援

◆ 生涯学習コーディネート機能の構築

学習活動で得られた専門的知識や技能、豊富な経験などを地域社会で活かせる（還元できる）よう、成果を提供する人とそれを利用する人をコーディネートする機能を構築します。

[主な計画事業]

- 3 生涯学習コーディネート機能の構築

◆ 生涯学習情報・団体情報の収集・提供の充実

市内の文化・スポーツ団体や市民活動団体、地域人材の活動情報を収集し、その情報を市民へ提供することで、市民への学習機会のきっかけとするとともに、各種団体の日頃の活動のPRや地域人材の活性化を図ります。

[主な計画事業]

- 4 団体等の活動情報の収集・提供

主な計画事業

1 羽村市文化協会、羽村市体育協会の活動支援

広く市民の芸術文化、スポーツ活動に対する意識の高揚を図るため、その担い手の一翼となる羽村市文化協会や羽村市体育協会の今後の発展に向けた支援を行います。また、循環型生涯学習社会の実現の観点から、各協会加盟団体の専門的な知識や技能を持った方々を講座等の講師として活用した事業展開を図っていきます。

2 社会教育関係団体の活動支援

社会教育関係団体が充実して活動できるよう、団体の日頃の活動を広く市民へ情報提供するとともに、財政的支援を行うほか、施設の優先的な受付や使用料の減免、随時の新規登録受付などにより、その活動を支援します。

3 生涯学習コーディネーター機能の構築

学びたい人と学んだ成果を活かしたい人とをつなげる役割となる生涯学習コーディネーターを養成します。また、幅広い地域人材ネットワークの構築を図るため、生涯学習コーディネーターの組織化に取り組むとともに成果の提供と利用をコーディネートする機能を構築します。

4 団体等の活動情報の収集・提供

市民の学習のきっかけとすることや、各種団体の活発な活動への支援を図るため、文化・スポーツ団体、市民活動団体等の情報をまとめたガイドブック「団体・サークルガイド」、「市民活動団体・ボランティア団体等ガイド」や「市民活動情報紙きずな」を発行します。

計画事業の対象とするライフステージ						
主な計画事業	ライフステージ					
	乳幼児期	少年期	青年前期	青年後期	壮年期	高齢期
1 羽村市文化協会、羽村市体育協会の活動支援				○	○	○
2 社会教育関係団体の活動支援		○	○	○	○	○
3 生涯学習コーディネーター機能の構築				○	○	○
4 団体等の活動情報の収集・提供		○	○	○	○	○

※対象とするライフステージとは、各計画事業に該当する主な年代とします。

施策 2 7 地域人材が活躍する生涯学習

方針

地域人材が生涯学習活動において活躍し、知識・技能・経験を地域社会に還元できる仕組みづくりを進めます。

現状と課題

市民は、様々な分野で個人として、また、地域活動団体^{※1}や市民活動団体^{※2}の一員として活発な活動をしています。

これからの生涯学習社会を支えるため、学習活動、個人的な趣味や教養、仕事や経験などを通じて市民が身につけた知識や技能などの成果を、様々な機会を活かし、発揮できる環境を整える必要があります。市民が郷土に関心を持つ取組みを展開し、市民が学んだ成果を進んで地域に還元するきっかけとするとともに、様々な人材を発掘し、地域社会や学校等の中で積極的に活用を図ることが求められます。

市では、公園ボランティアや図書館ボランティア、里山ボランティアなど、様々な機会を捉えてボランティア制度を展開し、多くの地域人材が活躍できる場を提供しています。

また、生涯学習に関する知識や技能などを提供したいという方の情報をまとめた人材バンク登録制度を設け、地域の人材の活用を図っていますが、活用される機会が少ないなど活動の機会に恵まれていない現状もあるため、人材活用の受け皿づくりの充実について、さらに検討していく必要があります。

また、子どもたちの生活や学習を支え、健やかな成長につなげていくために、地域人材の学習活動への積極的な登用が求められています。現在、学校においては、授業や部活動等への地域人材の活用が盛んに行われていますが、今後も一層の活用を進めていくことが大切です。

学校を核として地域コミュニティの活性化が図れるよう、地域と学校の連携・協力の中で、地域の人材がこれまでに培った知識・技能・経験を活かせる体制を整えることが求められており、学校・家庭・地域を結ぶコーディネーターの養成、確保を図ることが大切です。

※1 地域活動団体：市内の特定の地域で継続的、自発的に活動を行う営利を目的としない団体。

※2 市民活動団体：市民が主体となり、市内全域及び市域を超えた広範囲にわたって継続的、自発的に活動している営利を目的としない団体。

今後の方向性

◆ 生涯学習コーディネート機能の構築

学習活動、個人的な趣味や教養、仕事や経験などを通して得られた専門的な知識や技能、豊富な経験などを地域社会で活かせるよう、成果を提供する人とそれを利用する人をコーディネートする機能を構築します。

[主な計画事業]

- 1 生涯学習コーディネート機能の構築

◆ 郷土の魅力や特色を知る機会の提供

郷土に興味や関心を持つことが、学んだ成果を地域に還元するきっかけとなることから、郷土の魅力や特色を知る機会を提供します。

[主な計画事業]

- 2 市民記者による郷土の魅力・特色の発信

◆ 様々な分野において知識や技術等の提供ができる人材の育成と活用

専門的な知識や技能を持った地域人材を市主催事業等で活用するほか、羽村市文化協会や羽村市体育協会等と連携した事業を実施するなかで活用を図ります。

[主な計画事業]

- 3 市民ボランティアの育成と支援
- 4 人材バンク登録制度の活用

◆ 地域が主体となった学校への支援

地域全体で学校教育を支援することを目的に、多くの地域の方々が学習活動へ参加することによる地域教育力の向上を図ります。

[主な計画事業]

- 5 学校支援地域本部の活用機会の充実

◆ ゆとろぎ協働事業運営市民の会の活動支援

市民が社会で身につけた様々な知識や技能を活用して、生涯学習センターゆとろぎの各種事業の実施、施設の利便性の向上と利用促進を図っていきます。

[主な計画事業]

- 6 ゆとろぎ協働事業運営市民の会の活動支援

◆ 地域防災力を高める人材の育成と支援

地域が防災力を高めるための様々な学習活動を支援するとともに、その学習成果が地域に還元されるよう、地域防災力の向上につながる取組みを支援していきます。

[主な計画事業]

- 7 防災リーダー講習会等の実施への支援

主な計画事業

1 生涯学習コーディネート機能の構築

学びたい人と学んだ成果を活かしたい人とをつなげる役割となる生涯学習コーディネーターを養成します。また、幅広い地域人材ネットワークの構築を図るため、生涯学習コーディネート機能の組織化に向けて取り組んでいきます。

2 市民記者による郷土の魅力・特色の発信

市民自らが記者となり地域の魅力や特色について取材し、市の広報媒体や広告等で発信していくことで、記者となった市民はもとより、多くの市民が郷土に興味・関心を持つよう取り組みます。

3 市民ボランティアの育成と支援

ボランティアの質を高め、ボランティア活動が積極的に行えるよう、様々な分野でボランティア養成講座を実施するとともに、ボランティア団体等の連携体制の構築を図ります。

4 人材バンク登録制度の活用

様々な分野において知識や技能の提供ができる市民の情報を収集し、その人材を、市主催事業や羽村市文化協会、羽村市体育協会等との連携した事業などを通じて、地域や市民の生涯学習活動の場で活用できるよう充実を図ります。

5 学校支援地域本部の活用機会の充実

知識や技能をもった地域人材が学校教育を様々な角度から支援することにより、地域の連帯感の形成や活性化が図られることから、学校支援地域本部の活用機会の充実に努め、地域ぐるみでの子育てにもつなげていきます。

6 ゆとろぎ協働事業運営市民の会の活動支援

ゆとろぎ協働事業運営市民の会は、市民が社会で身につけた様々な知識や技能、民間の発想力などを活かし、質の高い企画事業の提供と利用者の活動支援に努めています。今後も、市民との協働事業を推進するため、様々な角度から活動を支援していきます。

7 防災リーダー講習会等の実施への支援

防災に関わる人材の育成を図るため、羽村市町内会連合会が主催する「防災リーダー講習会」や福生消防署とその管内2市1町が実施する「家庭防災フェスティバル」など、地域で取り組む防災に関する学習を支援します。

また、防災に関する知識や技能を持った人が増えるほど、地域防災力が向上することから、防災に関わる人材の知識や技能を地域に還元できる仕組みを構築します。

計画事業の対象とするライフステージ						
主な計画事業	ライフステージ					
	乳幼児期	少年期	青年前期	青年後期	壮年期	高齢期
1 生涯学習コーディネート機能の構築				○	○	○
2 市民記者による郷土の魅力・特色の発信				○	○	○
3 市民ボランティアの育成と支援		○	○	○	○	○
4 人材バンク登録制度の活用				○	○	○
5 学校支援地域本部の活用機会の充実				○	○	○
6 ゆとろぎ協働事業運営市民の会の活動支援				○	○	○
7 防災リーダー講習会等の実施への支援			○	○	○	○

※対象とするライフステージとは、各計画事業に該当する主な年代とします。